



国葬反対スタンディング=2022年9月27日 新潟市中央区 新潟日報前



「不屈」No.580付録  
新潟県版 No.316

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
新潟県本部

〒950-0843 新潟市  
東区栗山3-8-1  
小日向 昭一 気付

TEL 090-2972-9678

主な記事	
● 国葬に150人 抗議のスタンディング	新潟市中央区
● 岸田政権を徹底して追い詰めよう	10月県理事会
● 絵手紙 俳句 短歌 私と治安維持法国賠同盟 柄澤 武美	5
● 平和のバトンを未来につなぐ	上越支部白鳥 尚夫
6	

## 国葬に抗議 150人 スタンディング プラカードや横断幕

9月27日 新潟市中央区

安倍晋三元首相の国葬が行われた9月27日、新潟市中央区の新潟日報メディアシップ前で約150人が集まり、約30分間、「国葬反対」

「閣議決定は憲法違反」「民主主義を踏みにじる安倍元首相の国葬強行に抗議する」などのプラ

ラカードや横断幕掲げてスタンディングを行いました。

新潟市秋葉区でも新発田市でも柏崎市でも、同様な国葬に抗議するスタンディングを行いました。

## 内閣不支持率が支持率を上回る 支持率わずか32%

内閣支持率が40%、不支持率が48%、「時事通信」の世論調査では、支持率が32%。

岸田自公政権への国民の批判が大きく高まり、「首相は国葬の理由に在任中の『実績』を挙げたが、安倍氏は『負の遺産』を残したともいわれている」と報じました。

更に追い詰め、政治を抜本的に変えましょう。

共同通信の9月17、18日の世論調査では

# 怒り沸騰の岸田政治を徹底して追い詰めよう

2022年10月7日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟新潟県本部 理事会

## 【2】情勢の特徴と同盟の立場

(1) ロシアによるウクライナ4州併合を糾弾

9月、ロシアが軍事占領下においていたウクライナ南部2州を「独立」とし、既に「独立」承認済

## 【1】9月の行事・活動報告・総括

① 9月2日（金）魚沼支部、  
「千代子」上映実行委員会。

② 9月4日（日）県革新懇、  
講演会  
③ 9月5日（月）県理事会  
④ 9月6日（火）6・9行動  
⑤ 9月11日（日）上越支  
部、「千代子」上映実行委員  
会  
⑥ 9月13日（火）憲法セ  
ンター幹事会  
⑦ 9月15日（木）ア  
クション運営委員会

⑨ 9月19日（月・祝）渡  
辺治講演会  
⑩ 9月25日（日）ピースフェ  
スタ in 古町

⑪ 9月の会員拡大は5人（新潟  
2人、上越2人、阿賀野1人）。  
国賠署名増は20筆（新潟15  
筆、魚沼5筆）。



ピースフェスタでの民謡踊り＝新潟市中央区古町6  
2022年9月25日

### 2022年 9月末の到達

支 部	会 員 人 数	9月 の会 員 増 減	誌 友 人 数	国賠署名数					
				数会 昨 年の 提出国		請 願 数	年 署 名 数 今 年 1 月 1 日 ま で の 1	累 計	1 今 年 5 月 1 日 以 降 の 署 名
				個人	団体				団体
新潟	121	2	2	1,017	10	659	2	65	
長岡	32			1,177	12	170			
上越	42	2		10		208		20	
阿賀野	15	1		42		131		20	
新発田	8					10			
五泉	6				10		26		
黒崎	7		1	25	15	33	7		
豊栄	12				9	1			
新津	21		1	7	1				
三条	6			59	3	31			
小千谷	10			223	2	260			
柏崎	5					10			
魚沼	13			78		63		5	
佐渡	4			50		20	2	10	
点在	10					17			
県本部						11		10	
県合計	312	5	4	2,625	44	1,649	11	130	



ピースフェスタでの書道と音楽のコラボ  
=新潟市中央区古町6 2022年9月25日

みの東部2州と合せて4州を一方的に併合する「編入条約」調印を強行した。これは国連憲章と国際法を幾重にも踏みにじる暴挙であり厳しく糾弾する。「ロシアは侵略をやめよ」「国連憲章を守れ」の世論を発展させよう。

## （2）怒り沸騰の岸田政治を徹底して追い詰めよう

岸田政権による「国葬」強行は、「法の下の平等」「思想・良心の

「自由」という憲法の大原則を蹂躪するものであり絶対に許せない。

同時に重視すべきことは、「國



葬」の対象となつた安倍元首相が強行した戦争法・安保法制のもと、この夏にはアメリカ海軍が主催し、

安政法制＝集団的自衛権の発動を想定した「リムパック」と称する世界最大規模の海上演習が行われたという事実である。集団的自衛権行使の訓練と、「敵基地攻撃能力」の保有が合わされば日本の前途は取り返しのつかない危険なものとなる。日本の民主主義の根幹を歪める統一協会と自民党の深刻な癒着も、その頂点に立つてきたのが安倍氏であった。

「安倍政治」を継承し暴走する岸田政権を徹底的に追い詰め、「9条改憲」阻止、豊かな暮らしと民主主義実現のために全力を尽くそう。

## （3）県都・新潟市長選挙の重要な意義

新潟市長選挙が10月9日告示、23日投開票で行われる。選挙は自民・公明などの支援をうける現職市長と、市民と野党の共闘候補・鈴木映氏の一騎打ちの闘いになろうとしている。この選挙は、不要不急の大型事業をやめ市民の暮らしが最優先の市政に転換させる絶好

の機会であるとともに、国民の激しい怒りを買つてゐる岸田政権に対し、3日から始まる臨時国会の有権者が審判を下す点でも重要な意義をもつ。さらに昨年来逆流に襲われてきた「市民と野党の共闘」の新たな前進と来春の統一地方選挙勝利の展望を切り開くうえでもきわめて重大な政治戦となるものである。



⑩ 10月20日（木）新潟  
支部理事会

5倍に増やした上越支部・田中  
徳光氏の報告だった。

⑪ 10月21日（金）10・2  
1行動

【6】会員・署名拡大について

⑫ 10月29日（土）阿賀野支  
部総会

①10月の目標  
会員・純増10人。  
国賛署名…200筆

⑬ 10月29日（土）解放運動  
戦士追悼会

②10月の集中行動日…16～1  
8（3連休）各支部は「自主目  
標」を決め、行動を。

【4】第40回県本部大会

### の開催について

期日…12月10日（土）10時

～15時 13時30分～

藤田廣登氏の講演・「原菊枝の  
革命的生涯」（仮）

会場：新潟市の共産党会館3F

【5】北信越ブロック  
交流会報告

日時…2022年10月4～5  
定て

①長岡支部…10月28日会議予  
定

②新潟支部…市長選後、渋谷支  
部長と対策会議を予定。

### 【3】10月の行事・活動計画

① 10月3日（月）市民ア

クション運営委員会

② 10月4日（月）～5日  
(火) 北陸信越ブロック交流会

映画「千代子」上映会  
センター幹事会

③ 10月6日（火）6・9行  
動

④ 10月6日（火）ピース

⑤ 10月8日（土）魚沼支部、

⑥ 10月8日（土）県理事  
会

⑦ 10月12日（水）憲法

⑧ 10月13日（木）市民ア

クション運営委員会

⑨ 10月19日（水）6・9行  
動

### 【8】「治安維持法犠牲者名簿」の発刊にむけ

①原稿の完成…野崎事務局長がU  
S Bメモリー化完成

②印刷会社への見積要請、発行部  
数の見通しの議論推進。

③募金目標の確定と達成に向け取

組み、12月の県本部大会に完成が間に合うよう可能性をさぐる。

## 【9】 映画「千代子」上映

運動

①魚沼支部の上映：10月8日

(土) 2回上映予定

②新潟市での再上映、柏崎市、五泉市(秋葉区を含め)での上映

の可能性をさぐる。

③上越支部の上映：11月3日

(木) 2回

## 【10】 100周年・木崎 争議の教訓を語り継ぐ

とりくみ

①新潟市での開催予定：新潟支部

11月27日、小さな美術館・季。10月20日、北区10月22日、

②阿賀野支部での開催予定：10月29日

## 【11】 「原菊枝顕彰碑」 建立運動について

①場所と碑石が確定した。

②募金活動の目標、取り組みの規

模を検討中

③「実行委員会」設立に向けた準備を推進中。

す。

時間、会場など詳しくは、「不

届」中央版10月号に掲載されております。

## 【12】 その他

①11月の県理事会、11月8日

日(火) 13時30分、クロスパルにいがた302号室

②四役会議、10月25日(火)

10時、スバルにいがた302号室

絵

手 紙

笠原 順子(新津)

町田 綾子(上越)

俳 句

元捕虜の国と手と手を爽やかに

炊き立ての越後新米塩むすび

種を探る幼なの手にも乗せてやり  
炊き立ての越後新米塩むすび

短 歌

亀山 和子(西蒲区)



吾が区に救急病院なし一時間を  
出血堪え中央区まで

現市政は「開発会社」に変質す  
「新潟2Km」は不要不急  
吾の身に起きてじわじわ怒り湧く  
医療の貧困緊急課題

高橋 シズ(新潟)



三才新人候補が立ち上がる  
市民の声をつぶさに取り上げ

かつての新潟市政は温かかりし  
平和都市も宣言したり

# 平和のバトンを未来につなぐ

上越支部 白鳥 尚夫

朝鮮戦争を機に日本教職員組合

は「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンを採択し平和運動の先頭に立った。このスローガンは教師となつた私の心を強く動かし、広島原爆資料館訪問とも相まって平和と教育を考える上で一貫した拠り所となつた。子どもたちに、世界の中を理解し、自分で物事を考えられる学力を身につけさせることが最優先であるが、その力を發揮できる平和な世の中がその前提にある。教師であると同時に一人の大人として、その責任があると考へてきた。三十数年間子どもたちと関わり、「暴力はいけない」、「体罰は許されない」自分の考え方を伝え合うことや相手の人権を尊重することの大切さを問うてきた。そして憲法九条の平和主義を学びながら「戦争は最大の暴力」であり核戦争は人類の滅亡につながることを伝えてきた。

ところが今、ロシアによるウク

ライナ侵攻が起き、戦争が続いている。ロシア国内ではメディアは規制され、真実が伝えられなくなったり、戦争反対など自由にものが言えなくなつた。プーチンによる専制国家が形成され、徴兵回避のため国外に逃れる若者が後を絶たない。ロシア軍のウクライナ住民への戦争犯罪は目を覆うばかりである。弱い立場の子どもや女性、お年寄りが犠牲となつていている。戦争の悲惨さが報道されるたびに心が痛む。さらにロシアは核兵器の使用にも言及していることは狂氣の沙汰だ。

さて、我が国に目を向けてみる

と、特定秘密保護法や安保法制の成立、防衛費一パーセント枠のなし崩し的な撤廃などが進んでいく。核兵器禁止条約には唯一の被爆国でありながら依然後ろ向きである。さらに、敵基地攻撃能力まで持と

うとしている。戦後の平和を守り続けてきた憲法九条改悪の動きも加速し、平和が脅かされている。

## 「県本部大会成功をめざす同盟建設特別期間」

11月1日～30日

考えていても、思っていても相手に話さないと何も伝わらない。

思ったことは行動しなければ何も変わらない。子どもたちに絶えず伝えてきたメッセージである。退職した今、平和のバトンを未来に渡すため、声を上げ行動する時と考へている。ロシアのようにこれまで当たり前だったことが当たり前で無くなつてしまつてはもう遅い。治安維持法国賠同盟の闘いを広げ、平和と民主主義を求める人々の力を強めていくために尽力したい。それが教え子たちとの約束を守ることにつながるから…。

(完)

10月中にすべての支部が会議を開き、11月中にどれどけの組織（会員数）に到達するかという目標と、その実現のための計画を決めて実践しましょう。

